

平成15年9月26日

～ 日頃の地道なパトロール活動が評価 ～

## 池袋西口の環境浄化パトロールが 防犯功労ボランティア賞を受賞！

池袋西口周辺の商店街が中心となって組織する「池袋西口駅前環境浄化推進委員会」(委員長:加藤竹司さん)は、日頃の地道な環境浄化パトロール活動が評価され、10月2日(木)に開催される「平成15年全国地域安全運動中央大会」(主催:全国防犯協会連合会)において、防犯功労ボランティア賞を受賞する運びとなった。

池袋は都内でも有数の繁華街。特に西口周辺の一画は飲食店や風俗店が軒を連ね、「夜の街」「こわい街」というイメージを持たれがち。こうした状況に地元商店主達は危機感を抱き、多くの人々が訪れる池袋の街を「安心して歩ける街、楽しい街」にしようと、駅前の6つの商店街が協力して、平成8年12月に同委員会を発足。悪質な客引きや違法な露天商行為、違法駐車などを排除するため、巡回パトロールを中心に、自主的な環境浄化活動に取り組んできた。

パトロールは、通常毎月2回(第2・第4土曜日)の夜間に行なわれており、同委員会のメンバーは、特注の黄色のウインドブレーカーに、黄色のたすき姿で参加。所轄の池袋警察や区役所職員、NPO団体も連携・協力し、地域が一体となった活動を展開している。

東京都にも、治安対策を都政の最重要課題に位置づけ、竹花副知事の就任後、本格的な対策に乗り出している。去る17日には都内有数の繁華街をかかえる、豊島、新宿、渋谷の各区長をはじめ、各地域の警察署長などを集め、「治安対策代表者会議」を開催、地域と連携した治安対策の方針を打ち出した。これにより、不法滞在の外国人や、少年犯罪などの対策をはじめ、違法な風俗営業の取り締まりの徹底や、防犯カメラ設置の促進などが決められ、「安心・安全な街」を実現するための取り組みが強化されることとなった。

今回の受賞は、地域が主体となった地道な活動が高く評価されたものであるが、こうした地域主体の治安対策強化の動きに大きな弾みとなるものと言える。

警察庁の関連団体である全国防犯協会連合会では、全国の地域安全活動に貢献した防犯ボランティアを対象に表彰を行なっているが、こうした地域の自主的かつ地道な活動に対して、全国規模の防犯功労ボランティア賞が贈られることは非常に心強く、「池袋にはまだまだ『うるさい親爺』がいる。」ということを強くアピールして、さらに環境浄化を進めていきたいと、同委員会の加藤さんは語っている。

詳細：池袋西口駅前環境浄化推進委員会

平成 15 年 6 月 13 日

## 街の安心・安全を自分たちの手で

### 池袋西口で環境浄化週間・集中強化パトロールを実施

池袋西口周辺商店街が中心となって組織する「池袋西口駅前環境浄化推進委員会」（委員長：加藤竹司さん）は、「安心して歩ける街、楽しい街」を自分たちの手で実現しようと、今週 10 日（火）から 5 日間連続で、西口駅前周辺繁華街の自主パトロールを行っている。

同委員会は、多くの来街者を迎える池袋の街で、安心して買い物をしてもらおう、また訪れたいと思ってもらえる楽しい街にしていこうと、駅前の 6 つ商店街が協力し、平成 8 年 12 月に発足した。悪質な「客引き」や違法な露天商行為、違法駐車など、「安心・安全な街」の阻害要因を排除するため、巡回して指導を行うなど、自主的な環境浄化活動に取り組んでいる。

同委員会では、年末の特別パトロールを除き、通常は、毎月 2 回（第 2・第 4 土曜日）に夜間パトロールを行っている。しかし、単発のパトロールでは、違法行為者たちを一時的には撤退させることはできても、いわゆる「いたちごっこ」で翌日には立ち戻ってくるといった状況が見られた。こうしたことから、監視活動を強化するため、10 日（火）～14 日（土）までの 5 日間を環境浄化週間として、集中強化パトロールを実施することとなった。年末以外に集中パトロールを行うのは初の試み。

パトロールは、每晚午後 8 時 30 分から 10 時までの 1 時間 30 分、毎回約 30 人が同委員会特注の黄色のウィンドブレーカーに黄色のたすきをかけて参加し、池袋西口の飲食店等が集中する繁華街を巡回する。区役所職員や NPO 団体のガーディアンエンジェルス、そして所轄の池袋警察署員も同行し、街ぐるみで悪質行為・違法行為の取り締まりにあたる。違法の露天販売への立ち退き指導や、違法駐車への「駐車禁止」ステッカー警告など、同地域内を何度も巡回して根気良く指導を繰り返していく。こうした地元の取り組みに、11 日（水）には、高野之夫豊島区長、池袋警察署長も参加、地域住民と一緒に巡回活動を展開した。

一方、街の犯罪抑止対策として、新宿など都内繁華街への警視庁の防犯カメラ設置が進められているが、池袋西口駅前地域にも、今年度中に 20 基の設置が予定されている。すでに同地域には、地元商店街により、9 基の防犯カメラが自主的に設置されているが、警視庁の防犯カメラが設置されれば、24 時間常時モニターされ、事件・事故への出動体制が確保されることとなり、さらに大きな抑止効果が期待される。

今回の集中強化パトロールは、防犯カメラの設置を前に、「違法行為を許さない」という街の姿勢を強くアピールし、自分たちの街の安全・安心を守るため、地域の結束を高めるものである。

詳細：区民活動推進課